

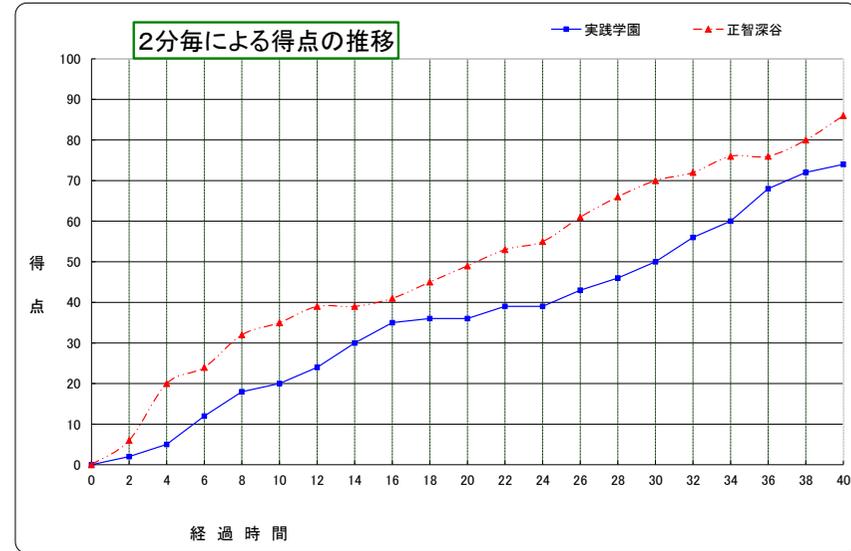
# 平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)  
春日部ウイングハット  
2回戦

チームA			チームB
<b>実践学園 (東京)</b>	<b>74</b>	{ 20 1st 35 16 2nd 14 14 3rd 21 24 4th 16 }	<b>86</b> <b>正智深谷 (埼玉)</b>

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	深澤 英吾	7	1	2	1	5	2	2	2	1	3	1	5	0	1
5	町井 文太	29	4	8	8	21	1	2	0	2	7	2	3	1	4
6	阿保 柊二	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7	多田竜之介	4	0	1	2	2	0	0	2	1	1	1	0	0	3
8	矢口 拓歩	2	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	1	0	4
9	月村 凌樹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1
10	丸山 一馬	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3	2	2	0	0
11	小玉 大智	20	2	4	5	15	4	4	4	8	2	4	3	0	5
12	磯部 真希	0													
13	江川 航希	0													
14	横山 悠人	10	1	2	3	9	1	2	5	4	1	2	3	0	2
15	阿川 佳樹	0													
16	吉川耕之輔	0													
17	斎藤 颯斗	2	0	0	0	1	2	2	0	0	2	3	0	0	0
18	酒井 裕汰	0													
コーチ	高瀬 俊也		0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	1
		74	8	17	20	57	10	12	16	20	20	17	17	3	21
		確率	47.1%		35.1%		83.3%			計 40					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	常田 耕平	9	2	6	1	2	1	3	1	1	2	1	3	0	7
5	川口 颯太	21	3	6	6	9	0	0	2	1	8	3	4	0	4
6	増田 英寿	40	0	0	17	24	6	8	1	8	4	1	2	0	8
7	中村 吏	4	0	0	2	10	0	0	3	5	5	2	7	0	4
8	岡村 拓都	0													
9	渡部 琉	6	0	4	3	6	0	0	4	1	2	0	0	1	2
10	勝山 大輝	6	0	0	3	7	0	0	1	3	4	3	1	1	1
11	渡邊 圭悟	0													
12	石橋 柊	0													
13	國分 大雅	0													
14	田並 陽弥	0													
15	糸川 太一	0													
16	小山 愁	0													
17	渡辺 諒一	0													
18	木幡 春樹	0													
コーチ	成田 靖		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
		86	5	16	32	58	7	11	12	20	26	10	17	2	26
		確率	31.3%		55.2%		63.6%			計 46					



**戦評**

第1P、両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタートする。序盤、正智が早いボール運びで#4、#6が着実に点数を重ねた。一方、実践も#11の2P、#5の3Pで応戦するも、正智#5の3Pが決まり、開始3分、5対13になったところで実践が1回目のタイムアウト。その後も実践は正智のディフェンスを攻めることができず、ターンオーバーを得点につなげる場面もみられたが、流れが変わることはなかった。途中、互いに3Pの取り合いになる場面があったが正智の方がわずかにリードした。実践#5の2Pとリバウンドへの貢献も見られたが、正智の勢いを止めることはできず、15点差がついた状態でピリオドが終了した。

第2P、実践の厳しいディフェンスにも正智#6のプレーは止まらず、正智が得点を重ねていった。しかし、正智#6、#7が途中インサイドプレーを実践につぶされ、実践#14のリバウンドへの貢献や#11の3Pが決まり、勢いが実践に流れ始める。正智のミスが目立ち始め、開始3分で正智がタイムアウトを要求した。すると、冷静になった正智に#6、#7の連携したプレーが戻り、再び点差が広がっていった。両チーム3Pがよく決まるが、実践が正智のターンオーバーや速攻のチャンスを得点につなげることができずいた。正智は変わらず、早いボール運びからの速攻で確実に点につなげていった。ピリオドの最後まで、実践はイーージーシュートを落としたり、攻撃が単調で正智に守られたりする場面がみられた。実践は、タイトなディフェンスで正智のボール運びやボールだしのミスを得点につなげることもあったが、流れは戻らなかった。

第3P、実践#5の3Pで始まったが、イーージーシュートを落とす場面がみられた。両チーム得点がしばらく止まっていたが、動き始めたのは正智の早いボール運びからの速攻だった。それでも実践#5の3Pが連続で決まり、正智のドライブからの合わせによる得点にも負けず、実践#5、#11によるシュートで徐々に実践が追いついていった。残り1分で実践がタイムアウトを要求。その後のディフェンスが功を奏し、正智にミスがでても得点にはつながらず、逆に正智がそのこぼれ球を拾うことでさらに点差が開き、20点差で第3Pが終了した。

第4P、両チーム得点を取り合いながら、時間が進んだ。正智にターンオーバーが重なったところで、残り5分正智がタイムアウト。その後も点の取り合いが続いたが、#5、#11などの活躍で10点差まで縮んだ。早い展開の中で、実践にフールが重なった。その後は互いにイーージーシュートを外す場面も見られたが、リバウンドショットは正智の方に分があった。実践も追いつけるチャンスがあったが、最後までその点差は縮まることなく試合が終了した。

記入者: 前田 雄太

Ref	大澤 尚樹	1st U	一色 渉	2nd U
-----	-------	-------	------	-------